



基本目標 2. 地域福祉に対する理解の促進

基本項目：2-1 地域福祉の普及啓発

基本項目：2-2 福祉教育の推進

PLAN (計画)	現状と課題	<p>本会の広報活動は、隔月発行の広報誌とSNSを活用したホームページ・Facebook、ケーブルテレビによる情報発信を行っている。</p> <p>広報誌は隔月発行のため、タイムリーな情報提供が難しく、Facebookは若年層の利用率が低いSNSであるため、幅広い世代に向けた情報発信が出来ていない。</p>					
	方針・目標	<p>現行の広報媒体に加え、市民が求める情報をよりわかりやすく伝え、利便性を高められるようSNSを積極的に活用した広報活動に取り組む。</p> <p>若年層にも関心を持ってもらえるようInstagramを開設し、写真や動画を掲載することにより、手軽に情報を入手できるような広報活動に取り組む。</p>					
	取組みの 達成目標		R5	R6	R7	R8	R9
		広報紙（社協だより）の発行	計画 6回	6回	6回	6回	6回
		結果					
ホームページ・Facebook、ケーブルテレビによる情報発信		計画	→				
結果							
	Instagramの開設と情報発信	計画	→				
	結果						



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果	
	課題	
	今後の方向性（継続・見直し・終了）	
	継続（一部見直し）	



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容	

事業名	2-1-2 地区社協広報誌支援事業
-----	-------------------

PLAN (計画)	現状と課題	地区社協活動への理解と協力を得るために、地区社協が発行する広報誌の作成支援を実施しているが、コロナ禍で地区社協の活動が停滞し、平成27年度には17地区社協で広報誌を発行していたが、現在は6地区社協に減少している。					
	方針・目標	広報誌の発行を中止している地区社協に聞き取りを行い、再開に向けた働きかけを行う。山陽新聞社による研修や、雑型の作成、市社協の活動などを情報提供し、広報紙をまだ発行できていない地区社協についても作成しやすい支援を行う。身近な地域の福祉活動を広報することにより、子どもから高齢者まで幅広い世代に地区社協活動が理解され、活動につながるよう本事業を継続する。					
	取組みの 達成目標		R5	R6	R7	R8	R9
		山陽新聞社による地区社協 広報誌作成研修の開催	計画			1回	
			結果				
		地区社協広報誌の雛形の作成	計画			1回	
結果							
広報誌を発行している地区社協数	計画	6地区	7地区	8地区	9地区	10地区	
	結果						



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性 (継続・見直し・終了)
	継続 (一部見直し)



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容

PLAN (計画)	現状と課題	<p>本会は、年間15回程度、市内の小中高校生を対象に福祉教育を行っている。これまで福祉教育は、車椅子や高齢者体験等が中心となっていたため、学習内容が限定的で、「地域福祉」の視点や、「当事者理解」が進まず、地域福祉の担い手育成にまで繋がっていないという課題があった。</p> <p>そのため、令和2年、福祉教育ガイドブックを作成し、福祉教育に当事者や地区社協の役員等が参加する機会も設け、内容の充実を図っているが、依然として、車椅子体験等のみを希望する学校が大半を占めている。</p>					
	方針・目標	<p>当事者や、地区社協役員等が行った福祉教育の事例集を作成し、地域共生社会の実現を目指した福祉教育の内容をより具体的に学校等へ紹介する。</p> <p>地区社協等と連携した福祉教育を増やすことで、地域福祉について自ら考え・行動できるような福祉教育の実践を目指し、地域福祉の担い手を育成する。</p>					
	取組みの達成目標		R5	R6	R7	R8	R9
	当事者や地区社協役員等と行った福祉教育事例集の作成	計画	協議・検討	作成・配付			
		結果					
	地区社協等との協働による福祉教育の実践	計画	提案検討	1回	1回	1回	1回
		結果					



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性 (継続・見直し・終了)
	継続 (一部見直し)



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容

PLAN (計画)	現状と課題	これまで地域の中では、高齢者の課題を中心とした見守りや福祉活動が中心となっており、世代や属性を超えた福祉活動が展開出来ていないことから、本会は令和2年度より「8050」やひきこもり、子どもの貧困等、新たな福祉課題にも目を向けることが出来るよう、地区社協に対して「地域福祉講座」を行っている。						
	方針・目標	地域共生社会に向けて、地域のあらゆる福祉課題や生活課題を他人事から我が事へ、自分たちの地域へと意識が持てるよう、地区社協に向けた「地域福祉講座」を継続し、主体的に福祉活動に参加するきっかけを作る。						
	取組みの 達成目標	新たな「地域福祉講座」の内容に関する調査	計画	R5	R6	R7	R8	R9
			結果		6地域			6地域
		地区社協に向けた「地域福祉講座」の開催	計画	→				
			結果					
		講座開催後のアンケート結果の共有	計画	→				
結果								
計画								
結果								



DO (これまでの取組み)	年度	取組み内容
	R5	
	R6	
	R7	
	R8	



CHECK (毎年度7月末時点)	達成状況と成果
	課題
	今後の方向性 (継続・見直し・終了)
	継続 (一部見直し)



ACTION (今後の取組み)	具体的な取組み内容